

石巻日日新聞に掲載されました。

石巻日日新聞

石巻日日新聞社
〒986-0874
石巻市双葉町8番17号
電話 0225-95-5231
ファックス 0225-94-4720
郵便振替口座 02240-3-4424

©石巻日日新聞社 2023
Hibi-net
https://www.hibishinbun.com

安全・安心のプレセンター
DWA
石巻市中里三丁目6の12 ☎095-99000
ネット/仙台塩釜古川/名取気仙沼鹿野原

県東部 10日の天気

晴れ 明けくもり 所により 明け方まで 雨。南の風 やや強く。波 3メートル うねりを伴う。

朝の最低 27℃ 日中の最高 30℃

降水確率	0-6時	06-12	12-18	18-24
	20%	10%	10%	10%

仙台
11(金) 12(土) 13(日)

仙台	曇	曇一時雨	曇一時雨
26/32	25/29	25/29	25/29

仙台管区気象台 9日 午前11時発表

明日のごよみ

仙川 ※カッコ内は単位(cm)
満潮 20:53(142) —(—)
干潮 4:28(50) —(—)
(提供:仙台管区気象台)

石巻 日出 4:44 日入 18:36
月出 23:37 月入 14:10
(提供:国立天文台)

ごみのマナー向上まだまだ

「正しく捨てる」浸透へ

3日間で27万6千人が楽しんだ第100回石巻川開き祭り。多くの人出があれば、それだけ飲食でごみも出る。主催の実行委員会は今年、陸上行事の会場となった中心部に分別収集の「ゴミステーション」を開設。出店が集積した屋台村にも「み箱」があり、率先して拾うボランティアの活躍もあってポイ捨ては例年より減ったが、目には映る取り組み「マナー向上を訴える余地はまだまだありそうだ。



ゴミステーションにはスタッフが常駐し、分別を呼び掛けた



ゴミステーションは、駅前といしのまき元気が続きたい」と話した。本祭の5、6日、石巻

駅前は横の2カ所に設置。ごみの種類ごとの箱を用意し、市職員や市民有志が分別を呼び掛けた。市環境課の佐々木学課長は「祭りパンフレットへの掲載もあつてか、周知はまずまず。来年以降も継続

昨年コロナの感染対策で食べ歩きが自粛を求め、ゴミステーションの設置も見送られた。花火の無料観覧エリアには場所取りの粘着テープの貼り残しが目立った



れた。日中のポイ捨ては少なかつたが、街なかの花火会場は飲食を制限した観覧場所以外でごみが散見された。ごみの散見は街のイメージを悪くするため、市民有志の「石巻川開き祭りゴミゼロボランティア」は、昨年8月末に実行委と市長の齋藤正美市長に申し、企画段階からポイ捨ての防止を訴えてきた。3日間を通して有志のごみ拾いもあり、花火大会から一夜明け

6日朝も会場の開北橋周辺で多くの人々が活動。地元の水明町会からは約40人参加し、前夜に入場ゲートで実行委が回収を行った。前夜は思いのほか少な、戸田正勝町内会長(75)は「マナーが良くなったのが嬉しい」と話した。一方、場所取りに使った粘着テープは多くが地面に貼り付いたまま。町内会と行動を共にした住古中学校2年の浜野利緒さんは「貼り残しをはがすのが大変」と汗をぬぐった。同じころ街なかでも清掃が行われた。石巻地方の中高生が学びを深める「耕人塾」(横江信一塾長)からは生徒や教職員、保護者計28人が参加。露店が多いことからビールや焼き水の容器、焼き鳥のクシ、吸い殻のポイ捨てが目立った。側溝にごみが挟まっていたり、袋詰めされたごみが置き去りにされたりもしていた。

祭りのあとに散らかったごみは、街だけだけでなく思った思いも汚す。実行委は「ごみ対応の重要性は認識している。昨年受けた提言の中で実行に移せなかつた点を含め、早期に検討したい」と話